

科 目 名

美術科教育法Ⅳ Principles of Art Education IV

3年 後期 2単位

小林 孝 夫

概 要

美術科教育法ⅠⅡⅢに準じ、教育実習に向けても、教師としての姿勢や教材研究のとりくみについて、主として学校現場の実践面からみた内容を講義し、指導案や資料の作成、模擬授業と討議などの活動も併せて実施する。まとめとして、良い授業の条件や望ましい美術教師像について考える。

目 標

美術科教育の目標と課題を認識し、一人ひとりの意欲、主体性を大切にした創造性人間性豊かな授業づくりをめざす。さらに、これからの美術教師としてのあり方を考え、目標をもって前向きに自己研鑽していく態度を高める。

授業計画

- 1 美術教育理論小史
 - 2 教材の見直しと開発④
○班別討議、教材研究 ○指導案、参考作品や資料の作成 ○評価の計画
 - 3 模擬授業の実演と討議②
○導入指導で大切にしたいこと ○参考作品や資料の提示と発問の工夫
○感じとらせること、気づかせることと説明して理解させること、教えること
○教材のねらいと課題意識や意欲を高める手だて ○発想力と思考力と助言
 - 4 良い授業の条件を考える
○生徒の視点から ○指導者の視点から
 - 5 これからの望ましい美術教師像を考える
○生徒からみた美術教師像 ○教育の原点からみた美術教師像
- ※ 教育実習で大切にしたいこと、留意点

評価方法

講義内容や演習、討議に対する意欲、態度および指導案やレポート、教材研究などの提出物と出席状況を総合して評価する。

教 材

必要に応じ随時準備する。